

不同意性交等罪 被害実態に即し処罰を

もとむら氏 衆院法務委

もとむら伸子衆院議員は24日の衆院法務委員会で、刑法等改正案について質問し、対等でない地位関係を利用した性行為など同意のない性行為が、被害実態に即して適切に処罰されるよう求めました。

いうことで運用してほしい」と要求。松下裕子刑事局長は「ご指摘の通りだ」と答弁しました。

もとむら氏は、2000年には強姦(ごうかん)の起訴率が68.4%、不起訴率が31.6%だったのに対し、21年にはそれぞれ32.4%、67.6%と「逆転している」と指摘し、法改正で検察の運用は変わるのかと質問。斎藤健法相は、同意のない性的行為が「よりの確に処罰されるようになる」と述べた上で、改正の趣旨・内容を「検察



「入管法改悪案を廃案に」街頭宣伝でスピーチする、もとむら議員=21日



地位であることが「客観的に分かれば」と

軍拡財源法案 「有償軍事援助」告発

参院財金委 井上議員

井上哲士参院議員は、25日、財政金融委員会の軍拡財源法案の審議で、米国の武器輸出制度「有償軍事援助(FMS)」について追及しました。

井上氏は、米国が価格や納期を一方的に決定できるFMSによる武器購入について、2020年の参院本会議で、調達・維持費の高騰や未納、未精算など



「改善すべき課題が山積している」などと警告決議

さらに井上氏は、イージス艦が新造されるたびにFMSによる装備品が拡大していることを示し、「政府は」必要なものを積み上げて軍事費がGDP(国内総生産)比2%と

大軍拡・悪法阻止、暮らしまもれ

全国一斉宣伝 各地で



「大軍拡・悪法阻止、暮らしまもれ」解散総選挙に追い込み岸田政権に厳しい審判を」と、日本共産党の全国一斉緊急宣伝が20日、21日、各地で取り組まれました。



三重県鳥羽市では統一地方選で初の複数議席を獲得した戸上健、中村浩二の両市議が宣伝に打って出ました。(左写真)

中間選挙

- ◆三重 度会町議選(6月6日告示、11日投票、定数11、現有1) 貞森義和=現
- ◆愛知 刈谷市議選(6月25日告示、7月2日投票、定数28、現有2) 山本シモ子、牛田清博=以上現、にいむら健治=元

しもおく奈歩県議 愛知県議会で反対討論

4年ぶりに党議席が復活した愛知県議会の5月臨時議会で、しもおく奈歩議員は補正予算案について反対討論をしました。しもおく議員は補正予算案の中心である物価高騰対策は必要としつつ、「航空機サプライヤー(企業)支援」と「結婚支援」について反対しました。

5/23日付の中日新聞は予算案の採決としては3年ぶりに「起立採決」が行われたと報じました。

また、しもおく県議の所属委員会が決まりました。常任委員会は教育・スポーツ委員会、特別委員会はアジア・アジパラ 競技大会推進特別委員会です。